

東京拘置所で死刑の執行がありました

街に行く皆さん。昨日6月25日、参議員選挙の公示日という日に、法務省は3人の死刑を執行しました。

この近くの東京拘置所においても1の方が処刑されました。

選挙の前に死刑の執行があるかもしれないという情報があり、私たち（そばの会）では6月18日に東京拘置所におもむき、死刑制度の存置・廃止の論議が高まっている中で死刑の執行はやめてください、という内容の要請書を提出してきたばかりでした。そのとき、拘置所の職員の方は、「趣旨はわかりました。所長にわたせばいいんですね」と受取ってくれ、私たちはその対応からも、少なくともしばらくは執行はないもの信じておりました。それがどうでしょう。死刑制度に疑問を持つ多くの議員の方々が忙しくなり、マスコミも選挙報道一色になる日を選んで執行がなされたのです。

私たちは毎月1度の「死刑について考えてみませんか」というビラの中で、今の死刑制度のさまざまな問題点をとりあげてきました。その問題点とは、執行の有無さえ明らかにしようとする法務省の姿勢、執行日時 of 恣意性、執行にたずさわらざるを得ない拘置所職員の苦悩、事件を反省している人をなぜ今さら処刑しなければならないのか、裁判所によって分かれる判断（今回処刑された人の中にも1審では情状が汲まれ無期懲役の判決だった人がいます）…等々です。

こうした死刑制度の問題性から、国連人権委員会や日本弁護士連合会も死刑制度の見直しと執行の停止を何度も政府に求めているところです。そうした要請をふみにじる今回の死刑の執行に対して、私たちは強く抗議せずにはおれません。

街に行く皆さん。選挙の宣伝カーが喧しい中ですが、それに負けない抗議の声をいっしょにあげていきませんか。

緊急抗議集会

6月27日（土） 午後5時15分

死別廃止条約の批准を求めるフォーラム90

於：御茶ノ水・明治大学

（明治大学のどの場所になるか未定ですが、会場前には「フォーラム90」ののぼりをたててわかるようにします）

ビデオを見ながら

死刑について考える集い

PART 2

7月18日（土） pm6:00～

綾瀬プルミエ・和室

（足立区勤労福祉会館・綾瀬駅西口そば）

